

# 外国人患者との コミュニケーション支援ブック

## ～外国人の患者さんが来られたら～



公益財団法人山口県国際交流協会

## はじめに

山口県には約1万4千人の外国籍住民が暮らしています。近年、県内の外国人登録者数は1万5千人前後で推移していますが、永住者を除く登録者数は増加しており、国籍や在住目的も多様化してきています。また、地域社会の構成員として共に生きていく定住化の傾向も見られ、こうした外国籍住民は、就労や育児や教育など様々な課題に直面しています。

平成15年に当協会が実施した「外国籍住民を対象とした生活実態調査」では、外国籍住民が日常生活を営む上で抱える様々な問題が浮き彫りとなり、そのひとつとして、医療機関を受診する際の言葉のサポートが必要であることが明らかとなりました。

当協会では、県内在住の外国人の方を言葉の面でサポートするため、通訳サポーターの紹介を行っていますが、実際に、ここ数年、医療機関の受診時や乳幼児健診時の通訳紹介依頼が増えており、通訳サポーターの紹介等を通じて、医療という専門分野での通訳者のスキルアップの必要性や、医療機関側においても、言葉だけでなく文化や習慣などの違いから、外国人患者とのコミュニケーションに不安を感じておられることが、次第に明らかとなっていました。

これまでの取り組みをもとに、当協会では(財)自治体国際化協会からの助成を受けて外国人患者とのコミュニケーションの取り方をテーマとした本支援ブックを作成することにいたしました。医療関係に従事される皆様と外国籍住民とのより良好なコミュニケーションの一助として御活用いただければ幸いに存じます。

平成24年2月

公益財団法人山口県国際交流協会

# 目 次



1 外国人患者とのコミュニケーション方法について	… 1
(1) 英語でのコミュニケーション	… 1
(2) 医療現場での通訳について	… 1
(3) 日本で暮らしている外国人の共通語は「日本語」	… 1



2 外国人にとてわかりやすい日本語「やさしい日本語」	… 2
(1) 「やさしい日本語」とは	… 2
(2) 「やさしい日本語」の作り方	… 4
(3) 「やさしい日本語」を使ってみる	… 6



3 指さしイラスト対話集	… 8
(1) 妊婦健診～分娩～新生児のケア	… 8
(2) 薬を飲む時間	… 10
(3) 薬の種類	… 11
(4) ペインスケール	… 12
(5) 入院(病院での1日)	… 13
(6) 入院生活に必要なもの	… 14
(7) 羞恥心を伴う医療行為	… 15
直腸診	… 15
浣腸	… 16
導尿	… 17



4 お役立ち Web サイト集	… 18
-----------------	------

▼ひし形の模様は「大内菱」といって、ここ山口の地を治めていた大内氏のシンボルです。4つの花びらが集まっているように見えることから「幸菱(さいわいひし)」とも呼ばれ、「しあわせ」を意味します。



# 1 外国人患者との コミュニケーション方法について



## (1) 英語でのコミュニケーション

山口県には、約1万4千人の外国籍住民がいますが、英語を公用語としている国や地域の方は全体のおよそ10%程度<sup>※1</sup>となっています。

これまで、山口県国際交流協会に、様々なケースで、通訳の依頼がありましたが、英語を公用語とする国の方から、英語以外の言語での通訳を依頼されることも多くありました。英語を公用語としている国の方でも、必ずしも英語が堪能であるとは限らないのです。

## (2) 医療現場での通訳について

日本語に不慣れな外国人と、コミュニケーションを図るために、その母国語を理解できる通訳を依頼することが最も確実な手段ですが、母国語といっても、山口県内に暮らす外国人の国籍は様々であり、また使用している言語も多様です。これらの言語を理解し病気やけがなどの緊急時に対応できる通訳は非常に限られています。

山口県国際交流協会においても、ボランティア通訳の派遣を行っていますが、医療の現場での通訳については、その専門性から通訳の養成が難しいことや、通訳の費用負担の問題などの課題が多く、円滑な派遣は難しいのが現状です。

## (3) 日本で暮らしている外国人の共通語は「日本語」

短期の旅行者であれば別ですが、日本で日常生活を営んでいる外国人は、ある程度の日本語は理解ができるケースがほとんどです。

また、日本で暮らしている外国人の中には、通訳を介してのコミュニケーションよりも、まず、自分の話にゆっくりと耳をかたむけて聞いてほしい、"わかりやすい日本語"で説明してほしいと望んでいる人がたくさんいます。

日本と外国では、文化や習慣などの違いにより、医療の仕組みなども異なりますので、日本人にとっては当然のこととも、当然のこととせず、ゆっくり、ていねいに日本語で説明することで、コミュニケーションを図ることが可能になることが多いのです。

ただし、"わかりやすい日本語"といっても、日本語を母国語とする者同士の会話のような日本語をゆっくりと話しても外国人にとってはわかりにくいものです。日本語では主語を省略して表現することが多かったり、特に、口語では曖昧な表現で、ニュアンスを伝えたりする場合があり、こうした表現を、いくら大きな声で、ゆっくりと丁寧に話しても、外国人には、理解できない可能性があります。

それでは、外国人にとって"わかりやすい日本語"とは、どのような日本語でしょうか。

---

※1 山口県内の外国人登録者数は、平成23年3月31日現在、78ヶ国、13,997人であり、そのうち、英語を公用語としている国や地域から、22ヶ国、1,668名で全登録者の約10%となっている。

山口県地域振興部観光交流局国際課「やまぐち国際化ハンドブック2011」より



## 2 外国人にとってわかりやすい 日本語 「やさしい日本語」



### (1) 「やさしい日本語」とは

外国人への情報伝達のためには、母国語に翻訳して伝えることが最も有効ですが、近年、外国人に対する情報伝達に日本語を用いる試みが進められており、外国人にとってわかりやすい日本語として「やさしい日本語」の研究や作成が様々な機関で行われています。こうした流れの契機は、1995年の阪神・淡路大震災です。

阪神・淡路大震災以来、弘前大学人文学部社会言語学研究室では外国籍住民を弱者にさせないために、「やさしい日本語」についての調査・研究を行っています。この研究室の資料から「やさしい日本語」が考案された経緯について紹介します。

#### 「やさしい日本語」ができるまで

1995年1月に起こった阪神・淡路大震災では、日本人だけではなく日本に来ていた多くの外国人も被害に遭いました。震災後、外国人や外国人対応を行った機関に対して聞き取り調査を行ったところ「地震のあと情報は盛んに流されたが、日本語ばかりでどうすればよいのかがわからなかった」という声がよく聞かれました。中には、避難所にたどり着けず、壊れかけた家にずっと残っていたという人もいました。

つまり、多くの外国人は日本語による災害情報や避難情報を得ることができずに、地震による物理的な被害だけではなく、情報の面でも被害を受け二重に被災してしまったのです。災害が起こったとき行政やマスコミから、災害情報や避難情報がその地域の住民に伝えられます。しかし、住民の中には日本人だけでなく、日本語に不慣れな外国人もいます。彼らにとって、「避難所」「余震」「頭上注意」などの災害に関する用語や「ライフライン」「デマ」などの原語とは意味の異なることばは難しく、的確に情報を得て行動することは容易ではありません。

日本語に不慣れな外国人にも確実に情報を伝えるためには、彼らの母語で伝えることが最も有効です。しかし、母語で伝えるといつても彼らの国籍は様々であり、また使用している言語も多様です。災害時には、重要な情報はたくさんあり、そのすべてを多言語に言い換えることは難しく、時間もかかります。また、英語のみに依存すると、日本に来ている外国人の多くは英語を十分に理解することができないため、すべての外国人を救うことが難しくなります。

そこで私たちは、災害発生時の情報伝達に使うことばを、外国人にもわかりやすく、また情報を提供する日本人にも使いやすいように、簡潔な日本語にしようと研究してきました。その結果、考案されたものが「やさしい日本語」です。

注) 下線は当方で付したもの。

「やさしい日本語」は、災害時の外国人への情報伝達の手段として研究されたもので、既に災害の現場では、その有効性が検証されています。最近では、災害時に限らず、外国人への情報伝達の手段のひとつとして様々な場面での活用が試みられています。

実際に「やさしい日本語」の具体的な文例を、同じく弘前大学人文学部社会言語学研究室の資料から紹介します。「やさしい日本語」を理解する上で、とても参考になるものです。

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。これは、地震などの災害が起ったときに有効なことばです。95年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで彼らが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」なのです。

下の二つの文章を読み比べてみてください。

#### 文 章 A

けさ 7 時 21 分頃、東北地方を中心に広い範囲で強い地震がありました。  
大きな地震のあとには必ず余震があります。  
引き続き厳重に注意してください。  
皆さんおちついて行動をお願いします。  
ガス臭いようなところがありましたらマッチを擦ったり、照明のスイッチをつけたり、  
消したり、ということはしないでください。  
弘前市は断水や停電となり、市民の生活は麻痺しています。  
中心部の雑居ビルが完全に崩れ落ちています。

#### 文 章 B

今日 朝 7 時 21 分、東北地方で 大きい 地震が ありました。  
大きい 地震の あとには 余震<あとからくる地震>が あります。  
気をつけて ください。  
火を 使わないで ください。  
火事に 気をつけて ください。  
弘前市は 水と 電気が 使えません。  
地震で 倒れた 建物に 気をつけて ください。

文章Aは、阪神・淡路大震災のときに実際にラジオで放送された文をもとに作成したものです。

詳しく書いてあって、たくさんのことばがわかります。

文章Bは、文章Aよりも情報量は少ないですが、読んですぐに内容がわかります。

文章Bのほうが理解しやすく、日本語に不慣れな外国人にもわかりやすいと思います。

なぜなら文章Bは、一つ一つの文章が短くすっきりしていて、難しいことばを使っていないからです。

文章Bで使っていることばが「やさしい日本語」です。

「やさしい日本語」のイメージを掴むことができましたでしょうか。文例Aの文章と文例Bの文章では、多くの違いがあることがわかりますが、次では「やさしい日本語」の作り方を見ていきます。

## (2) 「やさしい日本語」の作り方

◆難しい語彙を避け、簡単なものを使ってください。1文を短くして、できるだけ文の構造を簡単にします。

(例)

「インフルエンザは、突然の発熱、喉の痛みや咳、全身のだるさや筋肉痛などを伴い、重症化することもありますので、早めの受診が必要です。」



- ・インフルエンザは、急に 高い 熱や 咳がでます。
- ・のどや 体の 全部が 痛くなります。
- ・病気かなと 思ったら、早く 病院に 行ってください。

◆少し難しい言葉でも、知つておいた方が良い言葉はそのまま使い、その言葉の後ろに分かりやすい説明を付けます。

(例)

保健センターに妊娠届（赤ちゃんが おなかに いることを しらせる かみ）を出してください。

◆外来語は原語と意味や発音の異なるものが多いため、使用するときは注意してください。

(例)

アレルギー	原語とは発音が全く異なる	→ ['ælərɡi]
リハビリ	原語では行われない省略した言い方	→ 「リハビリテーション」
ナースステーション	和製語	→ 「看護師の いる ところ」

◆擬態語や擬音語の使用を避けてください。

(例)

頭がガンガンする	→ 「頭の中で大きな音がするように痛い」
チクチクする	→ 「針でさされたように痛い」
ヒリヒリする	→ 「やけどをしたように痛い」

◆時間や生年月日の表記はわかりやすくしてください。

①元号は使わないで、西暦で書いてください。

(例)「平成23年4月1日」 → 「2011年4月1日」

②時間は12時間表記で書いてください。

(例)「21時30分」 → 「午後(夜の)9時30分」

③時間(期間)を表す助詞は、記号「～」ではなく、「…から」に統一してください。

(例)「午前9時～午後7時です。」 → 「午前(朝の)9時から午後(夜の)7時までです。」

◆動詞などを名詞化したものはわかりにくいので、使わないでください。

(例) 痛みがありますか? → 痛いですか? その他、「腫れ」、「痒み」など

◆二重否定の表現は避けてください。

(例)「通れないことはない」「使えないわけではない」

→ 『通ることができます、……』というように説明を付け加えてください。

◆文末表現はなるべく統一するようにしてください。

①可能の表現は「することができます」

(例)「お風呂に入れます」 → 「お風呂に入ることができます」

可能の表現は「れる」「られる」でなく、「することができます」としてください。

これは日本語能力試験3、4級で、はじめに「～ができる」という表現を習得するためです。

また、不可能の表現は「することができません」としてください。

(例)「電話は使えません」 → 「電話を使うことができません」

文末以外でも、可能・不可能の表現をするときは、「～できる」「～できない」を使用してください。

(例)「燃えるゴミ」 → 「燃やすことができるゴミ」

「燃えないゴミ」 → 「燃やすことができないゴミ」

②指示の表現「～てください」

(例)「手を洗いましょう」 → 「手を洗ってください。」

指示の表現は「～しましょう」ではなく、「～してください」とします。

「～しましょう」には、指示以外に、勧誘を表す場合もあるので、「～してください」の方が相手に伝わりやすいためです。

### (3) 「やさしい日本語」を使ってみる

ここでは、よくある場面を「やさしい日本語」で表現していますので参考にしてください。

#### 【例1: 小児科受診(嘔吐・下痢)】

お腹の中に入った細菌を出すために、嘔吐や下痢をします。  
 必要な水分や塩分まで出てしまうので、それを補うために点滴をします。  
 血液検査の結果を見て、抗菌剤を投与する可能性があります。

#### やさしい日本語

あなたのお腹の中に細菌(病気のもとになるととても小さな(目で見ることのできない)生きもの)がいます。  
 あなたの体は、その細菌(病気のもとになるととても小さな(目で見ることのできない)生きもの)を体の外に出すために、食べものを吐いたり(口から出したり)、下痢(水みたいなウンチ)をしたりします。そのとき、体に大事な水や塩も体の外に出ます。点滴(血管(血が流れているところ))に、針を刺して、そこに水と薬を入れること)をします。  
 あなたの血を調べます。細菌(病気のもとになるととても小さな(目で見ることのできない)生きもの)がいたら、抗菌剤(細菌(病気のもとになるととても小さな(目で見ることのできない)生きもの)を殺す薬)をあげます。その薬を飲んでください。

#### 【ポイント】

- ・だれが何をするのかということをはっきりさせる。
- ・難しい言葉でも知っておいた方が良い言葉は、そのまま使い説明をつける。

#### 【例2: 薬局】

こちらは初めてですか?この問診票に記入してください。  
 お薬手帳をお持ちでしたら、処方箋と一緒に出してください。  
 抗菌剤が○日分でていますので、毎食後に1錠ずつ飲んでください。  
 座薬が出ていますので、38.5度以上の熱が出た時に使ってください。  
 座薬は○時間以上あけて使ってください。

#### やさしい日本語

あなたは初めて、ここに来ましたか?この問診票(あなたに合わない薬があるかなどを知るために、あなたのことについて書くものです)に書いてください。  
 お薬手帳(これまでに、あなたが病院からもらった薬のことが書かれています)は、持っていますか?  
 処方箋(病院でもらった紙、あなたが飲む薬を書いています)をください。これは、抗菌剤(あなたの体の中にいる細菌(病気をもとになるととても小さな(目で見ることのできない)生きもの)を殺す薬)です。ご飯を食べた後に1個、1日3回(朝ご飯、昼ご飯、夜ご飯の後)○日間、飲んでください。

これは、座薬(お尻に入れる薬)です。熱が38.5度より高いとき、使ってください。この薬をもう一度使うときは、次は○時間以上後に、次の薬を使ってください。

#### 【ポイント】

- ・『ご飯を食べた後』で理解はできますが、食事の回数や間隔が日本と異なる場合があるため、薬を飲む時間、間隔を具体的に説明する。

**【例3: 胃カメラ検査の説明】**

胃カメラを入れやすくするために、スプレー剤でのどを局所麻酔し、胃・十二指腸の動きを抑える注射をします。管を挿入する時は、全身の力を抜き、お腹で呼吸してください。げっぷは出さないようにできるだけ我慢してください。つばは飲み込まずに外に出してください。

**やさしい日本語**

あなたのお腹の中を調べます。あなたの口に、胃カメラ（お腹の中を見ることのできるもの）を入れるために、のどに薬を入れます。つぎに、お腹の中を動かなくする注射（血管（血が流れているところ）に、針を刺して、薬を入れること）をします。

あなたの口から、胃カメラ（お腹の中を見ることのできるもの）の管をお腹の中に入れます。

そのときは、体をらくにしてください。息をするために、お腹を動かしてください。

げっぷは出さないでください。つばは飲まずに出てください。

**【ポイント】**

- ・難しい語彙を避け、簡単なものを使う。
- ・1文を短くして、できるだけ文の構造を簡単にする。

**【例4: 内科診察】**

それでは診察をしましょう。

口を開けてください。

聴診するので、胸をだしてください。

大きく息を吸って、吐いて。

診察台の上に横になってください。

仰向けになって膝（足）を曲げてください。

お腹をさわりますので、さわって痛いところがあったら、言ってください。

**やさしい日本語**

それでは、あなたの体の悪いところを調べます。

あなたの口を開けてください。

あなたの胸の中の音を聞きます。服を胸の上まであげてください。

息をたくさん吸ってください。吐いてください。

台の上に、上を向いて（背中を下にして）寝てください。膝を曲げてください。

あなたのお腹をさわります。さわったときに、痛いところがあれば、私に痛いと言ってください。

**【ポイント】**

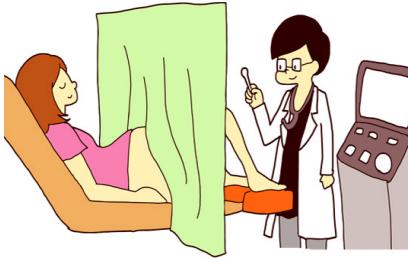
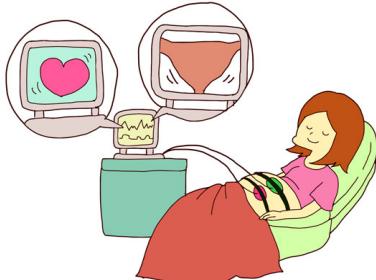
- ・日本語は主語・目的語が曖昧になりがちです。日本人にとっては、不自然な日本語でも主語・目的語をはっきりさせることで外国人にとって理解が容易になります。

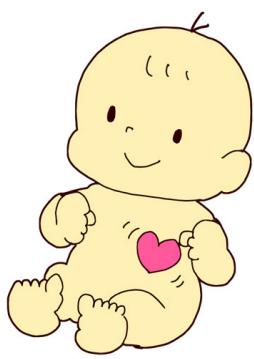
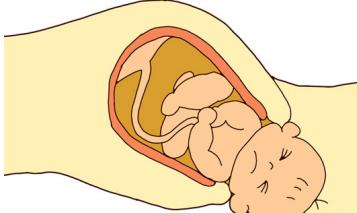
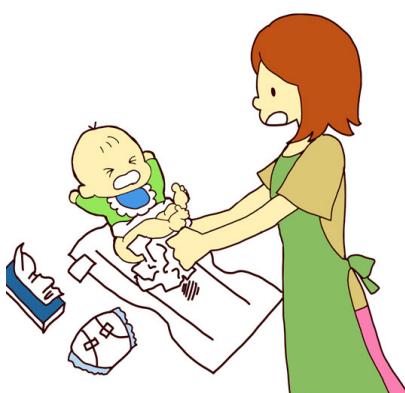
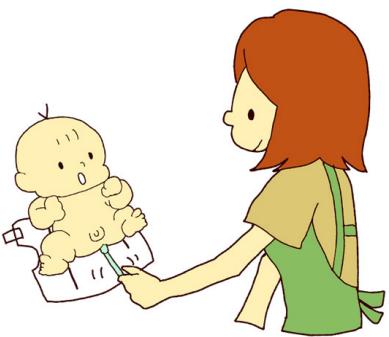
冒頭で紹介したように「やさしい日本語」は、災害時の使用を想定して作られています。平常時の外国人とのコミュニケーション手段としての活用も期待されていますが、今後の研究成果を待たなければならない課題があることも事実です。文例でも「細菌」という言葉を使いましたが、「細菌」と「ウイルス」の違いを明確に伝えなければならないケースでは、「やさしい日本語」にする際に、もう少し工夫が必要になります。近年、外国人患者とのコミュニケーションとは別のアプローチですが、病院の言葉を分かりやすくすることも研究されており、こうした取り組みの成果も「やさしい日本語へ翻訳」する上で、参考になるのではないでしょうか。「やさしい日本語」の医療現場での活用について、皆さんも取り組んでみてください。

### 3 指差しイラスト対話集

ここでは、医療機関でよく使われる用語について、イラストで表現しています。  
日本語が不得手な外国人とのコミュニケーションにお役立てください。

#### (1) 妊婦健診～分娩～新生児のケア

血圧測定	体重測定	尿検査
		
医師による問診	助産師による診察・保健指導	超音波検査
		
内診台での診察	NST	陣痛
		

胎児心拍	胎児娩出	おむつ交換
		
肛門刺激	瓶授乳	直接母乳
		
沐浴	抱っこ	へそ消毒
		

## (2) 薬を飲む時間

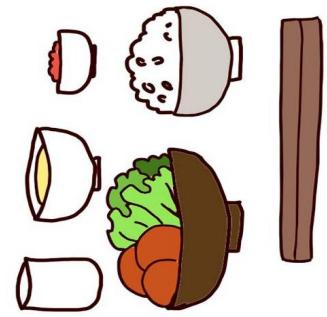
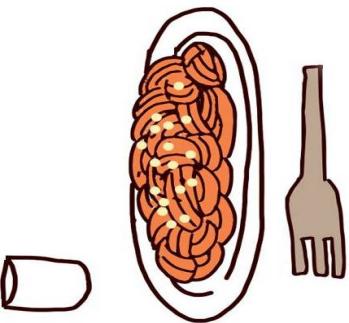
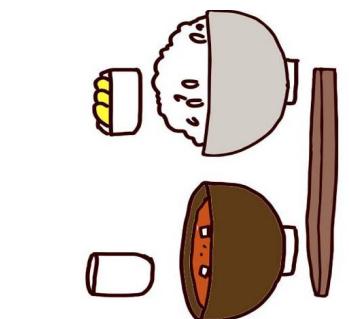
薬を飲む(使う)時間を線上で示し(お使いください)。

起きる

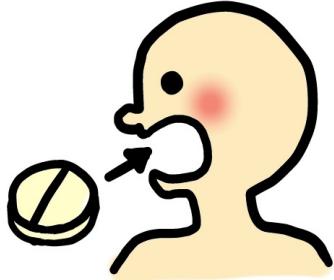
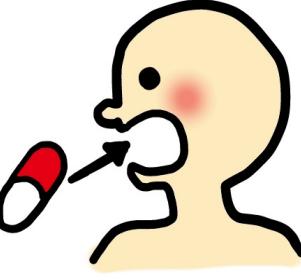
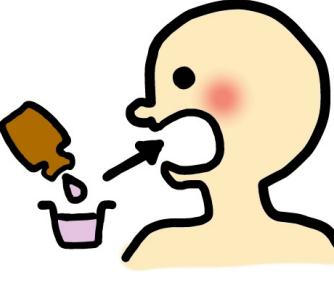
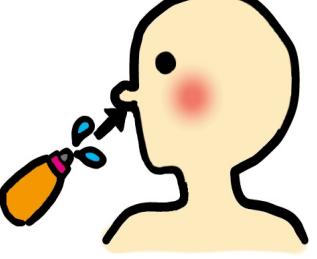
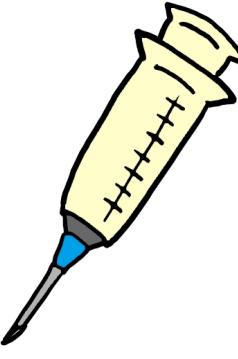
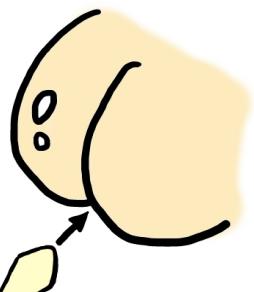
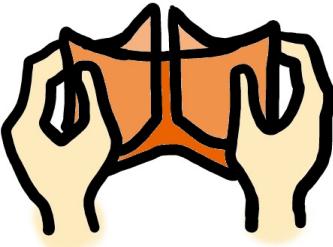
朝食

昼食

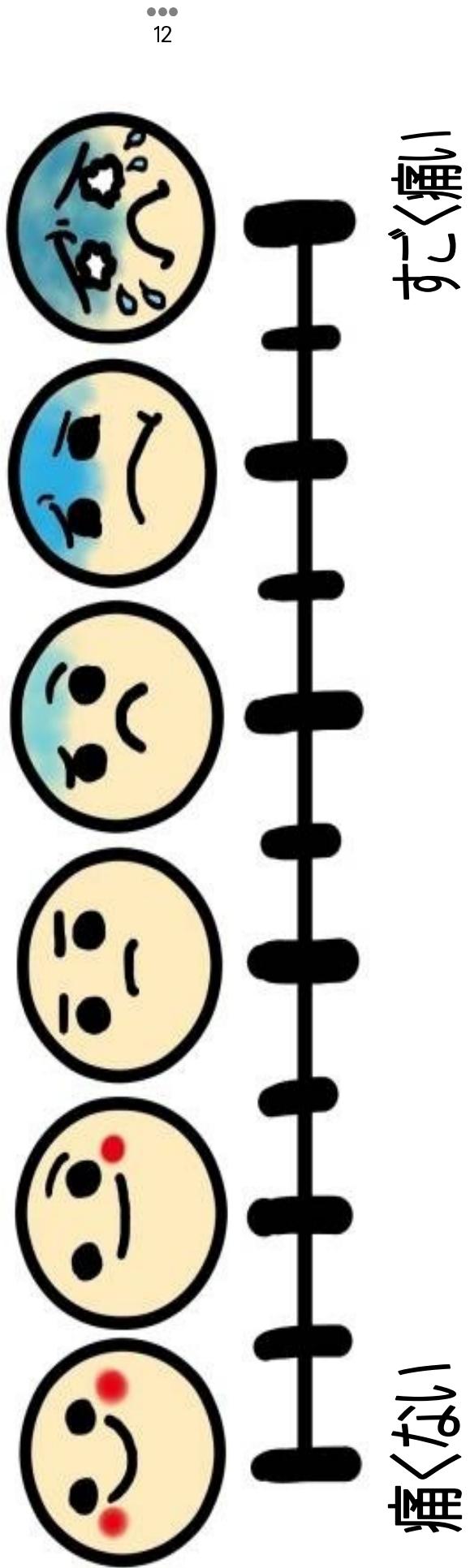
寝る



## (3) 薬の種類

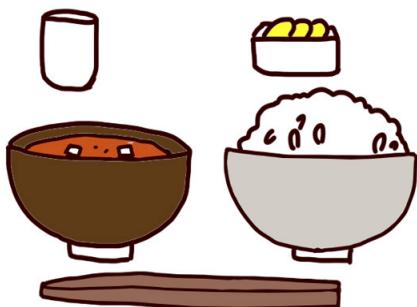
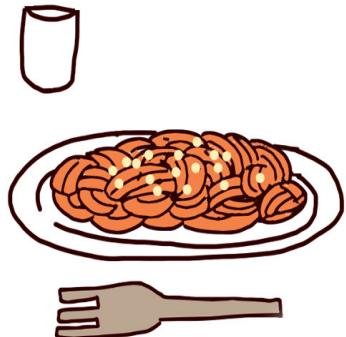
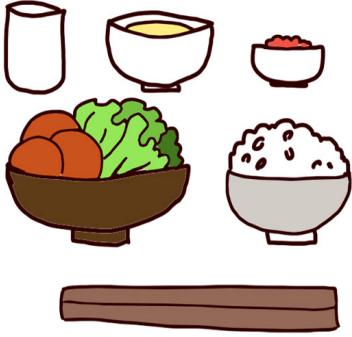
錠剤	カプセル剤	散剤
		
水薬	点眼剤	点鼻剤
		
吸入剤	注射剤	塗り薬
		
座薬	はり薬	
		

(4) ペインスケール  
どれくらい痛いですか?

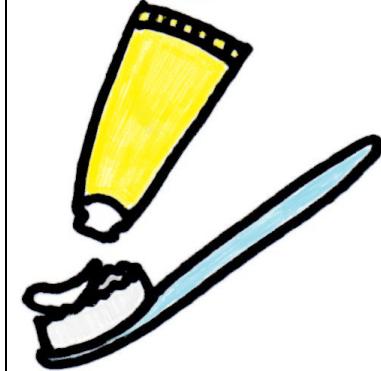
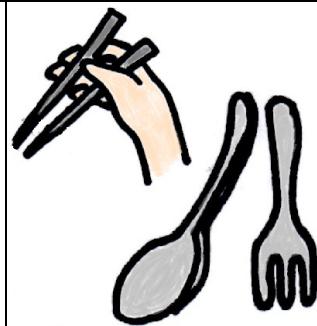
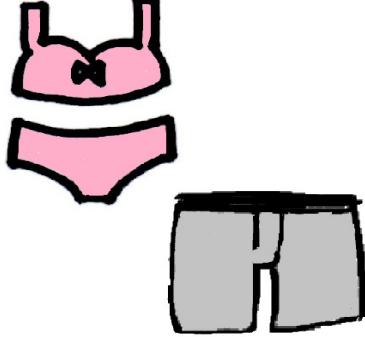
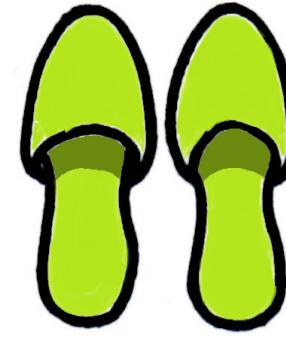
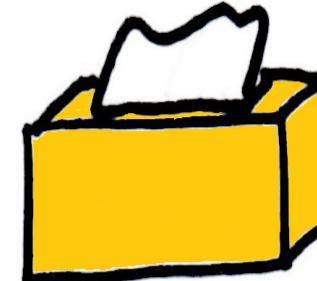


## (5) 入院(病院での1日)

時間を記入して、使ってください。

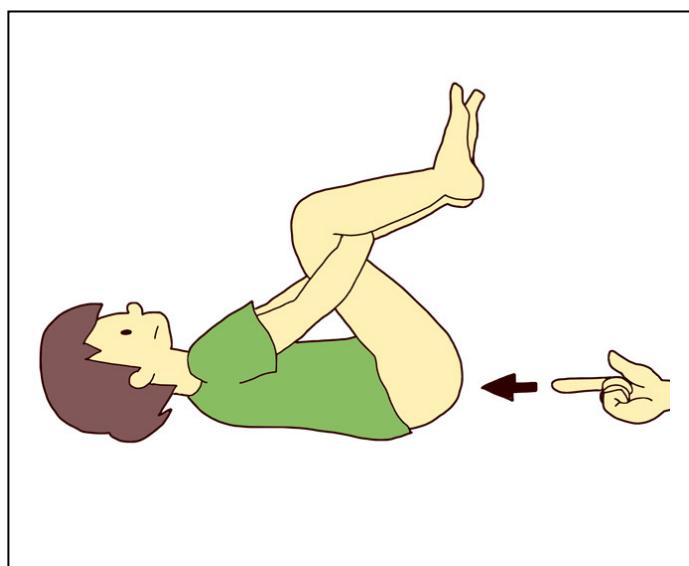
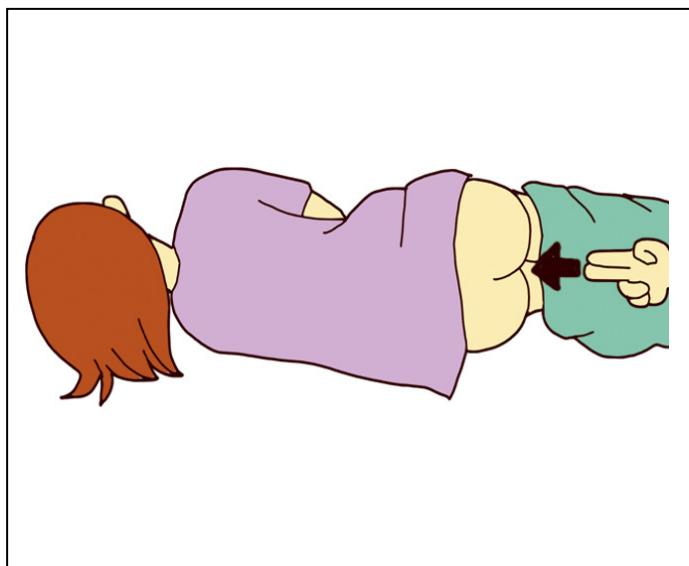
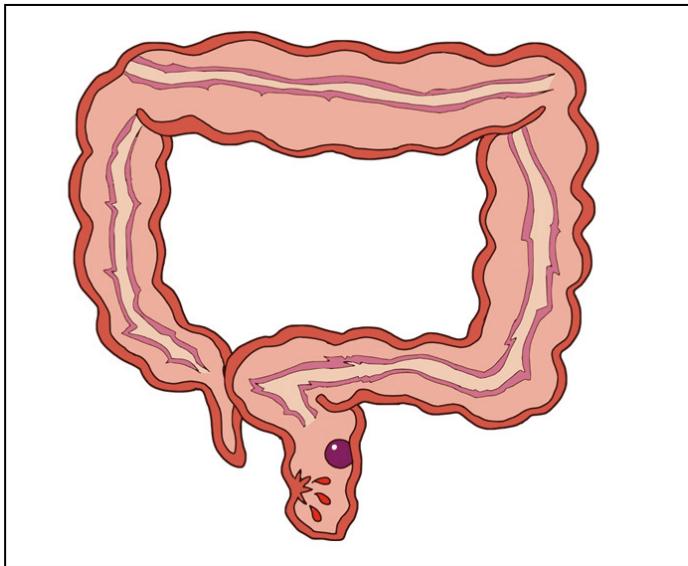
朝食	回診
	
時間記入欄	時間記入欄
昼食	面会
	
時間記入欄	時間記入欄
夕食	消灯
	
時間記入欄	時間記入欄

## (6) 入院生活に必要なもの

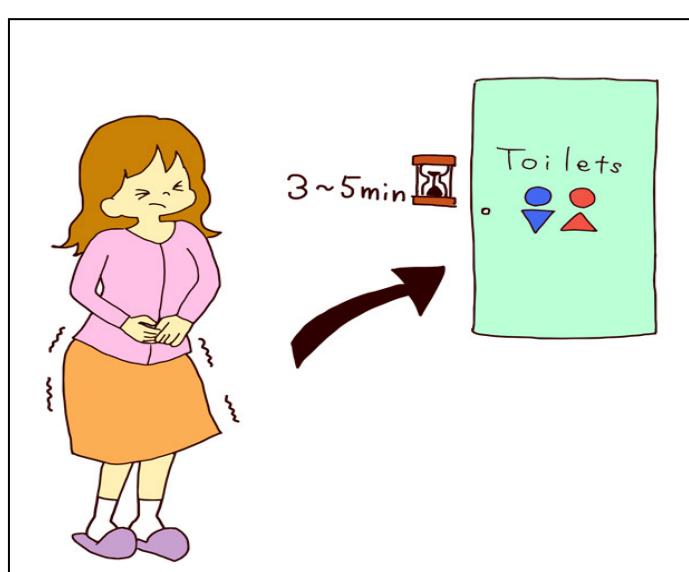
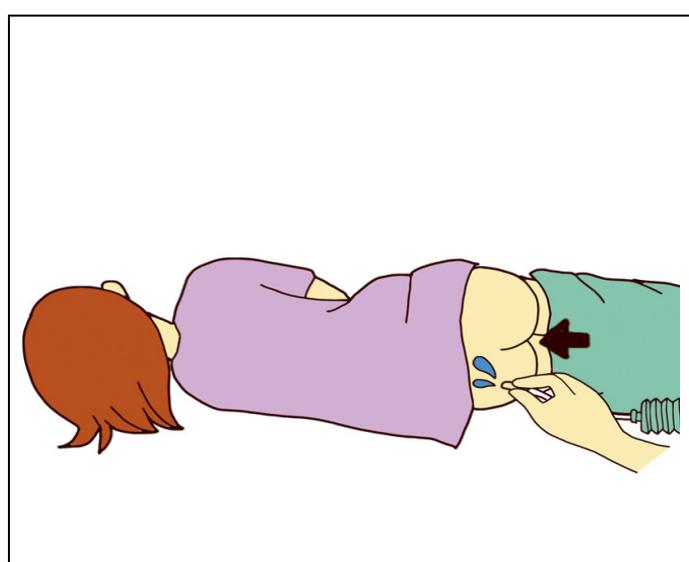
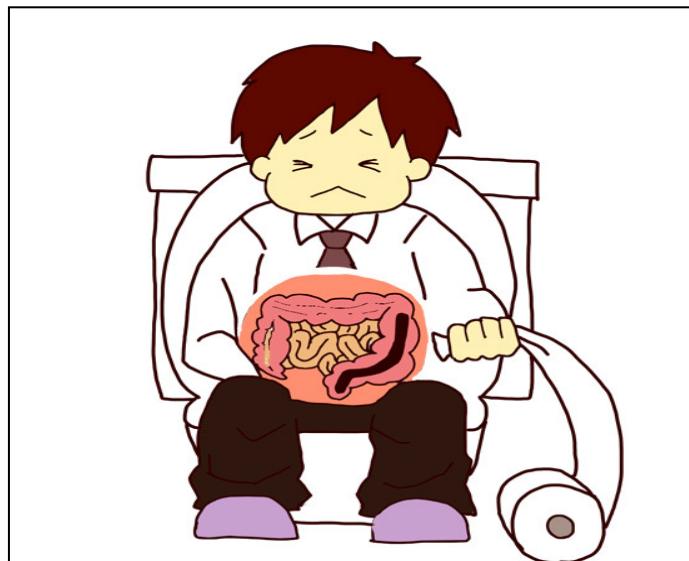
タオル	バスタオル (大きいタオル)	歯磨き粉・歯ブラシ
		
ひげそり	プラスティックコップ	スプーン・フォーク・はし等
		
下着	スリッパ	歩きやすい靴
		
入浴セット	ティッシュ	
		

(7) 羞恥心を伴う医療行為

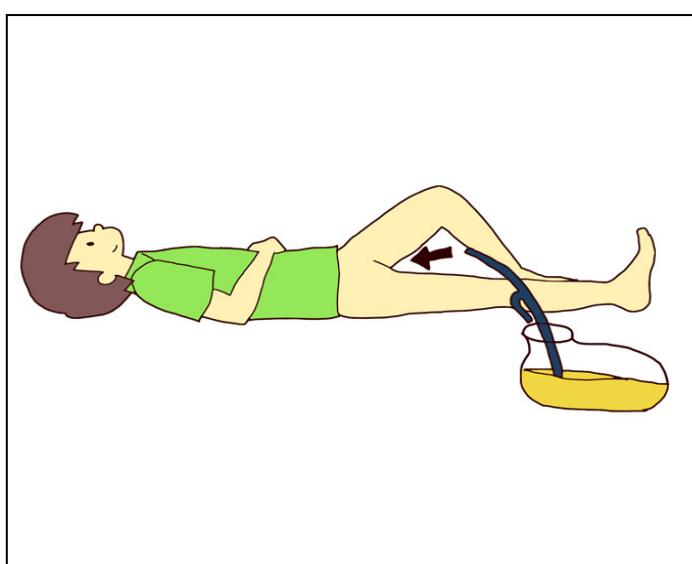
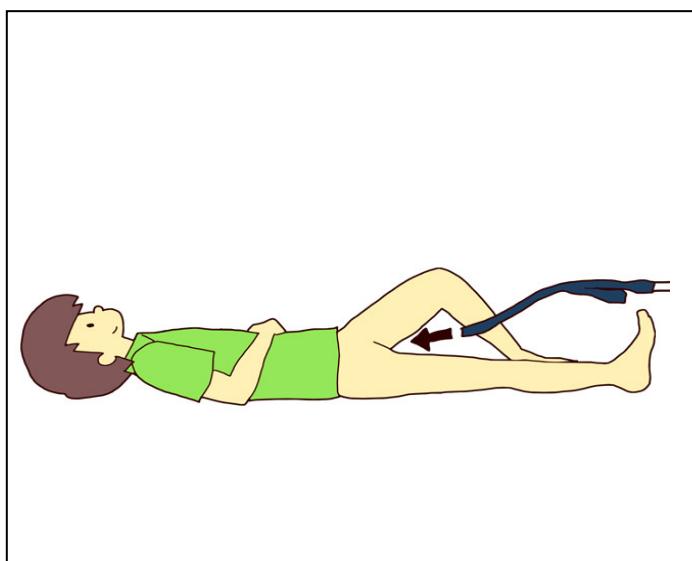
直腸診



## 浣 腸



導尿





## 4 お役立ち Web サイト集



### 諸外国の情報

サイト名	作成者	URL
世界の医療事情	外務省	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html</a>
海外で健康に 過ごすために(FORTH)	厚生労働省検疫所	<a href="http://www.forth.go.jp/index.html">http://www.forth.go.jp/index.html</a>

### 保健・医療に関する情報

サイト名	作成者	URL
多言語問診票	(財)かながわ国際交流財団 国際交流ハーティ港南台	<a href="http://www.k-i-a.or.jp/medical/">http://www.k-i-a.or.jp/medical/</a>
多言語医療問診システム M3(エムキューブ)	(特)多文化共生センター きょうと	<a href="http://sites.google.com/site/tabunkam3/">http://sites.google.com/site/tabunkam3/</a>
医療機関用 外国人ハンドブック	群馬県医師会	<a href="http://www.gunma.med.or.jp/modules/guestdoc/index.php?cat_id=10">http://www.gunma.med.or.jp/modules/guestdoc/index.php?cat_id=10</a>
医療ハンドブック	おおいた国際交流プラザ	<a href="http://www.oitaplaza.jp/japanese/modules/doc01/index.php?id=47">http://www.oitaplaza.jp/japanese/modules/doc01/index.php?id=47</a>
多言語生活情報 医療編	(財)自治体国際化協会	<a href="http://www.clair.or.jp/tagengo/">http://www.clair.or.jp/tagengo/</a>
外国人のための医療情報	(財)茨城県国際交流協会	<a href="http://www.ia-iwaki.or.jp/kokusai/soudan/medical/index.html">http://www.ia-iwaki.or.jp/kokusai/soudan/medical/index.html</a>
病院・薬局で使う 外国語会話集	田辺三菱製薬	<a href="http://di.mt-pharma.co.jp/foreign/index.html">http://di.mt-pharma.co.jp/foreign/index.html</a>
薬の正しい使い方	キクヤ調剤薬局	<a href="http://kikuya4193.com/kiku.html">http://kikuya4193.com/kiku.html</a>
メディカルハンドブック	(財)京都市国際交流協会	<a href="http://www.kcif.or.jp/jp/benri/kenko/medical-hb/">http://www.kcif.or.jp/jp/benri/kenko/medical-hb/</a>
NPO 法人 AMDA 国際医療情報センター	NPO 法人 AMDA 国際医療情報センター	<a href="http://amda-imic.com/">http://amda-imic.com/</a>
やまぐち医療情報ネット	山口県 救急医療情報センター	<a href="http://www.qq.pref.yamaguchi.lg.jp/qq35/WP000/RP000001BL.do">http://www.qq.pref.yamaguchi.lg.jp/qq35/WP000/RP000001BL.do</a>
生活ハンドブック・医療 用語集	(財)アジア福祉教育財団 難民事業本部	<a href="http://www.rhq.gr.jp/japanese/know/hiroba.htm">http://www.rhq.gr.jp/japanese/know/hiroba.htm</a>

ママと赤ちゃんのサポートシリーズ	多文化医療サービス研究会 -RASC-	<a href="http://www.rasc.jp/index.php?itemid=8">http://www.rasc.jp/index.php?itemid=8</a>
MEDO 医歯薬英語辞書	医学情報研究所	<a href="http://www.medo.jp/cgi-bin/je.cgi">http://www.medo.jp/cgi-bin/je.cgi</a>
出身国別の予防接種ガイド	Global Campus Net, Osaka	<a href="http://www.gcn-osaka.jp/child/cc01-05.html">http://www.gcn-osaka.jp/child/cc01-05.html</a>
日本で出産を考える外国人ママたちへ	(財)山梨県国際交流協会	<a href="http://www.yia.or.jp/foreign_residents/pregnancy_childbirth/index.html">http://www.yia.or.jp/foreign_residents/pregnancy_childbirth/index.html</a>
予防接種と子どもの健康	(財)予防接種リサーチセンター	<a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken10/index.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken10/index.html</a>
SIA 多言語子育て情報	(財)滋賀県国際交流協会	<a href="http://www.s-i-a.or.jp/child/">http://www.s-i-a.or.jp/child/</a>
多言語版 救急時情報収集シート	多文化共生センター兵庫	<a href="http://www.tabunka.jp/hyogo/119/">http://www.tabunka.jp/hyogo/119/</a>
病院用問診票・薬局用 問診票	外国人医療センター(MICA)	<a href="http://www.h6.dion.ne.jp/~mica/jpn/medical.htm">http://www.h6.dion.ne.jp/~mica/jpn/medical.htm</a>
薬局での外国人対応 マニュアル	大阪府	<a href="http://www.pref.osaka.jp/yakumu/f_manual/index.html">http://www.pref.osaka.jp/yakumu/f_manual/index.html</a>
メディカルハンドブック	(財)宮崎県国際交流協会	<a href="http://www.mif.or.jp/japanese/modules/content005/">http://www.mif.or.jp/japanese/modules/content005/</a>
医療ハンドブック	おおいた国際交流プラザ	<a href="http://www.oitaplaza.jp/japanese/modules/doc01/index.php?id=47">http://www.oitaplaza.jp/japanese/modules/doc01/index.php?id=47</a>
「病院の言葉」を 分かりやすくする提案	国立国語研究所	<a href="http://www.ninjal.ac.jp/byoin/">http://www.ninjal.ac.jp/byoin/</a>

## その他関連報告書

報告書名	作成者	URL
医療通訳モデル事業を通じた 多文化共生コミュニティ 創生プロジェクト ～先駆事例の 医療現場ヒアリング報告～	(特)多言語センターFACIL	<a href="http://www.tcc117.org/facil/pdf/med_report_2009.pdf">http://www.tcc117.org/facil/pdf/med_report_2009.pdf</a>

# 外国人患者との コミュニケーション支援ブック ～外国人の患者さんが来られたら～

※このガイドブックは、  
財団法人自治体国際化協会から助成を受け、  
作成したものです。

## <企画・作成・協力>

神尾 喜子  
山口大学医学部附属病院助産師  
酒井 恵子  
山口県立総合医療センター保健師  
中谷 智子  
山口市健康増進課保健師  
藤村 美都子  
青年海外協力隊 山口県OB会 副会長  
(中国・看護師・H13年度第2次隊)

## <デザイン・レイアウト>

山口県立大学国際文化学部文化創造学科  
「やまぐちの飾り」企画  
石川 智香子 小林 遥  
長井 優紀子 山尾 佑夏

## (監修)

山口県立大学国際文化学部文化創造学科  
地域文化創造論研究室  
准教授 斎藤 理

## <イラスト>

山口県立大学国際文化学部文化創造学科  
大田 晴香

## <イラストアドバイザー>

山口県立大学看護栄養学部看護学科  
岡本 郁実 福岡 里美 山下 祥子

## <発行>

公益財団法人山口県国際交流協会  
〒753-0814山口県山口市吉敷下東4-17-1  
Tel:083-925-7353 Fax:083-920-4144  
e-mail: [yiea@yiea.or.jp](mailto:yiea@yiea.or.jp)  
URL: <http://www.yiea.or.jp/>

平成24年2月発行